

好學尚武

市立浦和高等学校野球部通信

発行者 鈴木 諭

発行日 R 8. 3. 1 9

発行ナンバー 1 2 5 4 号

練習試合の結果

3月17日（火）対浦和実業学園高校

1 試合目 0対12 敗退

2 試合目 途中まで

3月18日（水）対浦和学院高校

1 試合目 3対3 引分

通算成績 2敗 2分

春を感じる

私が教職を目指すことになった1つの理由・・・それは市高野球部員として過ごしていた時のこんなことがキッカケでした。それはこの季節（節目の時）、野球部の卒業生（先輩）が様々な報告をしに恩師を訪れている様子を見た・・・その様子は高校時代の野球部監督と部員という関係ではなく、大人同士が楽しそうに現在の様子を話すといった感じで、当時の私にとって、教師というのはこのような経験ができるのか・・・そう思わせるものだったのです。

それから約35年が経ち、私も当時の恩師より年齢が上になりました。シーズンが始まり、教え子達が様々な報告をしに来校してくれています（就職します、地方に行きます、結婚しました・・・）私は、暖かくなったことよりむしろそういうこと（再会）で春を感じています。

少々格好つけて言わせていただければ、お金で買えないものかな・・・と。

左記、卒業する生徒達には、このような言葉を贈りました。人生一度きりなので、「こだわる」「譲れない」部分は必ず持って今後の人生を送って欲しい・・・私自身も教員になる試験に複数回落ち、でも、ここで諦めたらその後の人生で後悔するのでは・・・そんな状況から何とか今の仕事を得たからです。今、成り手が少ない等、ニュースになっていますが、常に同じ年代の子達の成長に携わることができるというのは他の職業にはない大きな魅力だと（私自身は）感じています。

教え子の皆さん、良い報告を待ちます。
頑張ってください！（当然ですが、報告は「春」でなくても構いません・笑）

卒業

14日（土）卒業式が行われ、野球部の選手6名、マネ1名、計7名が巣立ちの時を迎えました。その日は試合が計画されていたため、日を改めて16日（月）にお別れの会を実施しました（運良く市営浦和球場が予約できたので、皆で野球を楽しみました）。



今後ですが、ふと立ち止まった時、悩んだ時、進むべき方向に迷った時、君達には（さいたま市立浦和高校野球部という）戻ってくる場所があることを忘れないで欲しいと思います。いつでも遠慮なく顔を出すようにして欲しいと思います。

新たな世界での活躍に期待します。
頑張ってください！